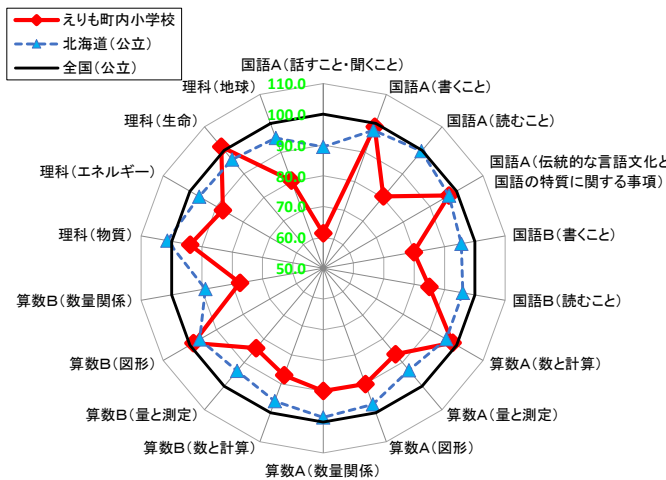


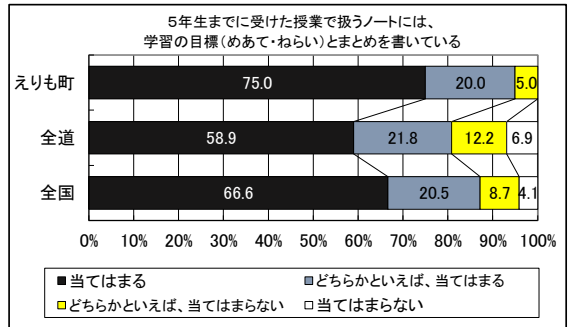
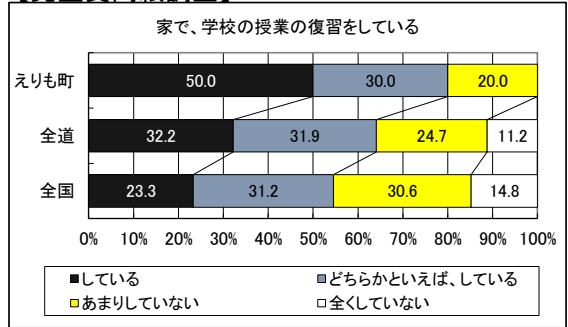
# ■えりも町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5、児童数:40名)

## 【教科全体の状況】

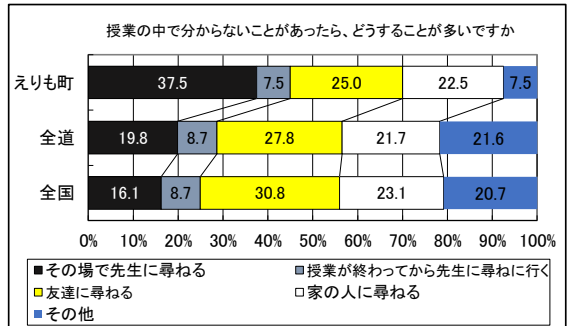
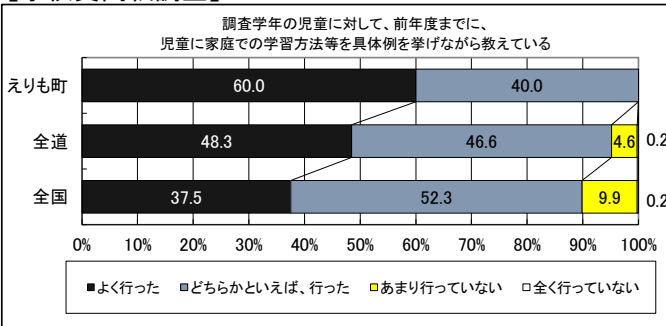
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【児童質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語Aでは「書くこと」で全道を上回っている。</li> <li>○ 算数Aでは「数と計算」、算数Bでは「図形」で全道を上回っている。</li> <li>○ 理科では「生命」で全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校では、授業改善を図り、基礎学力向上に取り組む姿勢が一層見られる。</li> <li>○ 児童は、授業で分からないことがあったら、先生に尋ねたり、友達に尋ねたりしている。学校が休みの日に、一層、家庭学習に取り組むことが課題といえる。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家で、学校の授業の復習をしていると回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> <li>○ 5年生までに受けた授業で扱ったノートには、学習の目標とまとめを書いていると回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> <li>○ 授業の中で分からないことがあったら、その場で先生に尋ねると回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平均正答率は、全教科について、年々全国平均との差が縮まり、徐々に基礎学力の向上が見られるなど、「チームえりも」として教育向上対策委員会の取組の成果といえる。</li> <li>○ 「チームえりも」で小中高が一丸となって学力向上に取り組むことにより、徐々にではあるが、基礎学力の向上がうかがわれる。一層、校種間連携と家庭の協力を図り推進する。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前年度までに、家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしたと回答した学校の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	

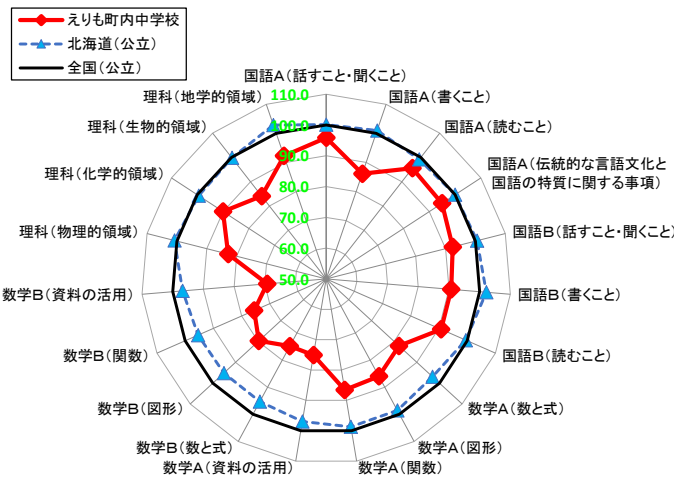
## 【えりも町の学力向上策】

- ◎ 基礎学力の定着を図る取組の強化
  - ◎ 「チームえりも」で全町を挙げた学校教育の充実
  - ◎ 教育向上対策委員会による「えりも町学力向上推進」の計画・実施・評価・改善
- 学校では数値による実態把握と到達目標、家庭学習では手引の改善と「10分×学年+10分」の推進、積極的な他校との研修の実施。特に、次の3つを重点として取り組む。
- ① 10項目の学習規律の徹底
  - ② 板書とノート指導の一体化
  - ③ 指導過程に位置付けた「定着」の段階の確実な位置付け

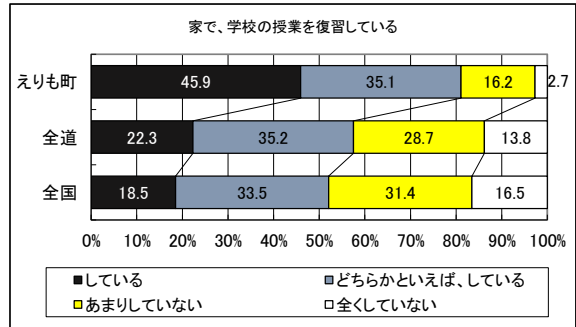
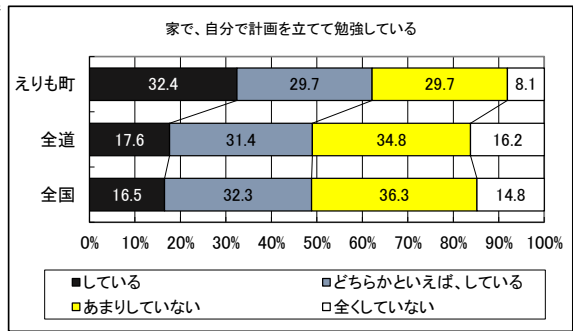
# ■えりも町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:35名)

## 【教科全体の状況】

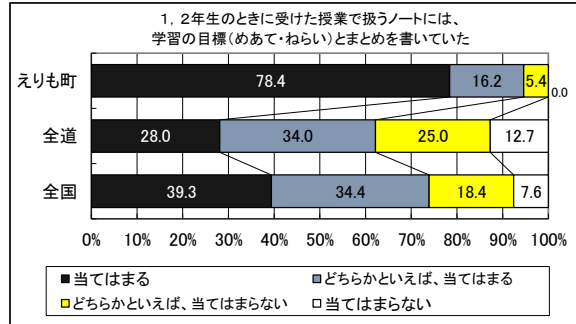
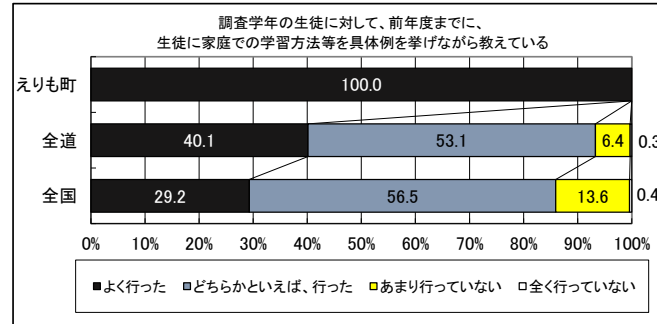
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【生徒質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」、「読むこと」で全国とほぼ同様になっている。</li> <li>○ 数学では、全ての領域で全道を下回っている。</li> <li>○ 理科では、全ての領域で全道を下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校では、授業改善を図り、基礎学力向上について取り組む姿勢が一層見られる。</li> <li>○ 生徒は、授業でのノート整理や、家庭学習での計画、復習はしているが、特に家庭学習の時間不足が大きな課題といえる。</li> </ul>
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家で自分で計画を立てて勉強していると回答した生徒の割合が、全国を上回っている。</li> <li>○ 家で学校の授業の復習をしていると回答した生徒の割合が、全国を上回っている。</li> <li>○ 1・2年のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(課題)とまとめを書いていたと回答した生徒の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平均正答率は、年度によって差はあるが、国語、数学について微増しており、教育向上対策委員会と学校の連携による取組の成果といえる。</li> <li>○ 「チームえりも」で小中高が一丸となって学力向上に取り組むことにより、徐々にではあるが、基礎学力の向上がうかがわれる。一層、校種間連携と家庭の協力を図り推進する。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前年度までに、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えている学校の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	

## 【えりも町の学力向上策】

- ◎ 基礎学力の定着を図る取組の強化
  - ◎ 「チームえりも」で全町を挙げた学校教育の充実
  - ◎ 教育向上対策委員会による「えりも町学力向上推進」の計画・実施・評価・改善
- 学校では数値による実態把握と到達目標、家庭学習では手引の改善と「10分×学年+10分」の推進、積極的な他校との研修の実施。特に、次の3つを重点として取り組む。
- ① 10項目の学習規律の徹底
  - ② 板書とノート指導の一体化
  - ③ 指導過程に位置付けた「定着」の段階の確実な位置付け